

美しい花で学校彩る

美深高校と美深高等養護学校農業科

2校間交流でプランター整備

【美深】美深高校と美深高等養護学校の2校間交流の一環で3日、プランター整備が行われた。

両校の2校間交流は、学科や学年に分けて双方の生徒が相手の学校を訪問し、一緒に

交流授業を受けたり、実習体験をしながら親交を深めている。一方、同科から美深高校への花の前の寄贈と、それをプランターに植えて飾る校内美化活動も毎年続けられている。今回はこの両方を合

わせ、寄贈された花苗のプランターへの植え付けを生徒たちの手で行った。この日は美深高等養護学校3年生が3人、美深高校ボランティア局の2、3年生5人が参加した。花の苗は色とりどりのマリーゴールド、ペゴニア、ペチュニアの3種を約120株用意。植え付けでは、主に作業に慣れている美深高等養護学校の生徒が美深高校の生徒に教え、慣れてくるとより美しさが映える並べ方について意見交換したり、

また、美深高校3年生でボランティア局長、高橋かれんさんも「花を傷つけないように教わりながらとても楽しく出来た。セン

て意見を交わしたり、会話を楽しんだりしながら親交を深めた。

美深高等養護学校農業科の成田由良さんは「とても楽しかった。最初は教えるのが難しいと感じたが、慣れてくると会話も盛り上がり、プランターもかわいく仕上げられた」と述べ、同じく農業科の佐藤祐麻君は「初めての取り組みで緊張した。出来栄は自分としては100点満点」と感想を話していた。

今回の作業では約20基のプランターに植え付けが行われ、それぞれ校門から昇降口にかけての通路に設置されて学校を華やかに彩っている。(安積祥紀)



両校の生徒が協力してプランターに花苗を植えた



きれいに苗が植え付けられたプランター

スの良いきれいな仕上がりになったと思う」と話した。